



学生の視点から地域の課題を探る 「市長とのふれあいトーク」

●問い合わせ 企画財政課企画政策室
☎53-2111 (内線3233)

次世代を担う若者との意見交換の場「市長とのふれあいトーク」が7月30日の村上高校を皮切りに開催されました。市内の高校と新潟リハビリテーション大学、新潟看護医療専門学校村上校のご協力をいただき、生徒や学生が日々感じている地域の課題や魅力、市政への要望など、若い人たちの視点からの意見を伺うことで、今後の市政運営に生かすことをねらいとしています。



市HP関連ページ

初めに市長が「やさしさと輝きに満ちた笑顔のまち村上を目指して」と題し、市長の一日のスケジュールや人口減少問題についての取り組み、市の伝統文化や市内出身の若者の活躍、そして今年度を振り返り、天皇陛下皇后陛下の御即位をお祝いする慶祝事業や昨年発生した山形県沖を震源とする地震の災害復旧などについて説明。その後、意見交換を行いました。

各校の学生は最初、緊張の面持ちでしたが、気さくに語り掛ける市長に次第に緊張がほぐれ、次々に手をあげ、質問や意見を述べていました。学生には市外出身者や通学者も多いため「よそから見た村上」を知る貴重な機会となりました。

生徒や学生からいただいた主な質問や意見は次のとおりです。(抜粋)

■村上高等学校

- 「私は消防士を目指しており、村上に戻って地域を発展させたい」
- 「教育学部への進学を考えており、新潟県内で先生になりたい」
- 「地域が活性化するような動画を作成したいが、良いものはあるか」
- 「新潟看護医療専門学校村上校」
- 「街灯が少ないと感じる。街灯を増やしてほしい」
- 「村上市のごみ袋は高い。もう少し値下げしてほしい」
- 「路線バスの本数を増やしてほしい」

い」

■村上中等教育学校

- 「村上駅に大きな案内板が必要ではないか」
- 「村上堆朱をアピールするため、車や電車の塗装に使うアイデアはどうか」
- 「夏、笹川流れに来た観光客向けにグルメを生かした路上店舗をやってみてはどうか。出店したお店へも足を運んでいただける企画だと思つ」

■村上桜ヶ丘高等学校

- 「市内に人工芝のサッカーグラウンドを作してほしい」
- 「最近、商店街ににぎわいが出てきましたが、まだまだシャッターが閉まっているところがある。今後どうなっていくのか」
- 「市長職で大変なことや、やりがいを感じる場所は」

■新潟リハビリテーション大学

- 「岩船の漁協でマグロや鮭の解体ショーなどのイベントで地域活性化を図ってみては」
- 「登下校の際に感じる強い臭いへの対策をお願いします」
- 「県外出身者ですが、村上はたくさんのお祭りがありますか」と思う。しかし、遊ぶところやショッピングモールがないのが残念」
- ※詳しくは、市ホームページをご覧ください



■開催日

- 7月30日 村上高等学校2年生（会場：教育情報センター）
- 10月25日 新潟看護医療専門学校村上校2年生（会場：同校）
- 11月8日 村上中等教育学校5年生（会場：同校）
- 11月19日 村上桜ヶ丘高等学校2年生（会場：教育情報センター）
- 12月17日 新潟リハビリテーション大学1・2年生（会場：同校）

